

# 令和7年度孤立集落状況把握・支援訓練 (秋田県・男鹿市・内閣府)

## 実施報告書 (概要版)

### 秋田県男鹿市について

- 秋田県は東北地方の日本海側に位置し、面積は1万1,637km<sup>2</sup>で全国都道府県で6番目の広さを有する。
- 男鹿市は秋田県西部に位置し、男鹿半島のほとんどを占め、三方を日本海に囲まれている。面積241km<sup>2</sup>のうち、約半分は森林地帯。人口は令和8年1月時点で22,665人で、JR男鹿線の通る半島の南部に集積している。
- 年間の平均気温が12度前後の豪雪地帯で、国の重要無形民俗文化財に指定される「なまはげ」で知られる。
- 能登半島地震の経験を踏まえ、令和7年に海路や空路を活用した輸送や避難所設備の強化等、孤立化対策の強化を盛り込んで、地域防災計画を修正した。

### 主な被害想定

- 男鹿市の北に位置する能代断層帯や男鹿市を震源とする男鹿地震発生時には最大震度6強を観測することが想定される。
- 半島の付け根にあたる地域は液状化や津波浸水のおそれがあり、主要道路である国道101号や県道が津波浸水域にあることから、男鹿半島内の集落や男鹿半島全域が孤立するおそれがある。



## 訓練概要

- 訓練想定：男鹿半島沖を震源とするM7.9、最大震度6弱の地震が発生し、土砂崩落、液状化、津波による道路寸断により孤立集落が多数発生。
- 実施日時：【孤立集落状況把握・支援訓練】令和7年9月23日（火）9:00～15:00
- 主催：秋田県、男鹿市
- 参加者数：400名
- 参加機関：秋田地方気象台、東北総合通信局、東北地方整備局秋田港湾事務所、函館税関秋田船川税関支署、陸上自衛隊第21普通科連隊・第9飛行隊、海上自衛隊舞鶴地方隊、航空自衛隊秋田救難隊・第33警戒隊、自衛隊秋田地方協力本部、秋田海上保安部、秋田県警察本部生活安全部・警備部、男鹿警察署、秋田臨港警察署、秋田県水難救済会北浦救難所、秋田県消防防災航空隊、日本赤十字社、秋田DMAT、秋田県DWAT、秋田DPAT、NTT東日本(株)、東北電力ネットワーク(株)、秋田県LPガス協会、秋田市消防本部、男鹿地区消防一部事務組合消防本部、男鹿市自主防災組織、男鹿市消防団、男鹿市企業局
- 訓練項目：災害対策本部事務局訓練、情報収集訓練、救援物資及び各機関の海上輸送訓練、避難者及び各機関の航空輸送訓練、避難所の開設・運営訓練
- 訓練の特色：男鹿半島全域を会場とし、関係機関中心に孤立対応に焦点を当てた大規模な訓練を実施した。

## 訓練の成果

### 【成果】

- 陸・海・空自衛隊、警察、消防、民間事業者等、防災関係機関が幅広く参加する大規模な実動訓練であり、各機関の連携が強化された。
- 現地の状況把握や人命救助、物資支援については、陸路だけでなく、空路や海路など、半島へ進出する複数の手段の実効性検証の機会となった。
- ヘリコプター搭乗や救援物資受取り、避難所運営に当たっては、地域住民の参加も得られた。
- 避難所では、一般避難者の避難スペースだけでなく、要配慮者スペースや傷病者スペースを設置し、在宅避難者や車中泊避難者の受付スペースも設置するなど、近年の災害で明らかになった課題を反映できた。

### 【課題】

- 孤立発生時の住民との安否や被害情報の伝達等、今回の訓練成果をいかに反映させるか、引き続き訓練を実施し、検討する必要がある。

9月23日(火) 9:00～15:00 孤立集落状況把握・支援訓練

- 災害対策本部事務局訓練では、発災当日から発災後3日目までを想定し、時刻をスキップさせながら、被害情報の収集、関係機関の派遣要請手順の確認、応急対応に関する調整等を行った。

▼災害対策本部  
運営事務局訓練



▼患者を救急車から  
ヘリコプターに運ぶ



- 陸上自衛隊や海上保安庁等のヘリコプターを活用し、通信機器、医療関係者の搬送や孤立住民の救出、患者の搬送等空路からの救援訓練を実施した。

▼ヘリコプターに  
搭乗するDMAT隊員ら



▼ヘリコプターに搭乗する  
秋田県知事、男鹿市長、  
内閣府大臣官房審議官ら



- 救援物資輸送訓練では、ヘリによる救援物資のほか、海保巡視船から漁船と引き継ぎ、北浦漁港に輸送、消防団が避難所まで車両輸送した。

▼漁船から救援物資を  
受け取り、トラックに  
積み込む消防団



▼避難所の要配慮者スペース



- 旧北陽小学校では、居住スペースだけでなく傷病者や要配慮者、妊産婦の受け入れスペース等も設置し、日英併記で案内を掲示するなど、多様な避難者を想定した避難所運営訓練を実施した。また、在宅避難者や車中泊避難者向けの受付も実施した。

▼避難所に設置されたテント



▼海上自衛隊多用途  
支援艦「ひうち」



- 船川港では、東北電力NW、NTT、LPガス、東北総合通信局、陸上自衛隊、消防等の車両を海上自衛隊多用途支援艦「ひうち」に搭載する訓練を実施した。